



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第14号

平成 28 年 11 月 15 日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

第63回 岩手地区議会 議員大会 滝沢で開催



要望内容を説明する
工藤総務教育常任委員長



講演する江藤俊昭先生



要望内容を説明する
桜井産業建設常任委員長



多くの市町議員が
一堂に会しました

7月28日ふるさと交流館を会場に、第63回岩手地区議会議員大会が開催されました。

当日は滝沢市のほか雫石町、岩手町、葛巻町の各議員が出席し、大会宣言のあと広域課題として道路整備など7議案全てを可決し、国や県への要望活動を決議しました。

その後、八幡平市、紫波町、矢巾町の各議員も加わり、滝沢市議会アドバイザーである山梨学院大学の江藤俊昭先生による講演会が行われました。

今後も本市周辺自治体議会との広域連携を推進し、議会活動を進めてまいります。

要望の内容（滝沢市関連のみ抜粋）

- 広域的な観点からの道路整備促進について
- 地域振興の観点からの道路整備促進について
- 国道282号一本木バイパスの早期完成について
- 菓子駅設置に伴う県道昇格について
- 主要地方道盛岡環状線岩姫橋の架け替えについて
- 林業振興対策の推進について
- 農業農村整備にかかる財源確保について
- 国営かんがい排水事業「岩手山麓地区」に係る財源確保について
- 公立学校施設費国庫負担金（建築単価）見直しについて

シリーズ第3回『議会評価』を受けて～意思決定能力～

議会では28年3月に「議会評価」を実施し、現在の議会の状態を明らかにしました。

「市民参加」「課題解決能力」「意思決定能力」「透明性」の4つの項目で評価したため、細かな内容や今後の取り組みのポイントを、シリーズで詳しくお知らせします。

議会の現状は

シリーズ第3回目は、滝沢市という自治体の意思を決定する機関である議会の「意思決定能力」の項目です。

①議案審査に資する委員会の内容

②市民参加や課題解決との関連性

③請願の審査

『1』 早急に改善が必要な状態

『2』 改善が必要な状態

『3』 良好な状態

『4』 十分良好な状態

『5』 理想の議会像

の5段階で評価しました。その結果は、下の表の中の「ア」欄のとおりです。

さらに、議会評価を実施する際に、今後めざしていく状態も定めており、その内容は表中の「イ」欄のとおりです。

【意思決定能力】における議会評価の結果

3つの視点	評価内容	ア:H27評価結果⇒現在の議会の状態	イ:めざす状態
①議案審査に資する委員会の内容	審査に際し、どの程度掘り下げた有効な審査ができたか。	『3』採決に至る過程において、地域課題の 本質を意識し 、その課題の解決に足りる事業の内容であるか、相応の予算であるか、という視点で審査を行っている状態。	『4』採決に至る過程において、地域課題の 本質を的確に捉え 、その課題の解決に足りる事業の内容であるか、相応の予算であるか、という視点で審査を行っている状態。 また、審査は質疑に留まらず、委員間討議による多様な意見の顕在化と論点整理をすることともに、委員長報告に対する質疑、議員間討議の実施等多様な手法を必要に応じて使い、様々な角度から議論している状態。
②市民参加や課題解決との関連性	意思決定(採決)に際し、市民参加や調査研究内容をどの程度踏まえて行ったか。	『3』採決に至る過程での審査が、「市民参加」や「課題解決能力」の成果と 関連付けて行われている状態。	『4』採決に至る過程での審査が、「市民参加」や「課題解決能力」の成果を 十分に踏まえている状態。
③請願の審査	請願の審査に際し、どの程度掘り下げた有効な審査ができたか。	『3』請願の採決に至る過程において、紹介議員からの説明を聞くとともに、必要に応じ「 請願者からの説明聴取 」を行っている状態。	『4』請願の採決に至る過程において、紹介議員からの説明を聞くとともに、必要に応じ「 請願者からの説明聴取 」「 関連する団体等からの意見聴取 」「 行政からの現状及び実現の可能性等の説明聴取 」等を行っている状態。

今後の取り組みポイントは

『現状』と『今後めざしていく状態』を比較した結果、今後何をしたいかなどで意思決定を行うなど、取り組みのポイントが明らかにまりました。

具体的には、例えば議会を続けてまいります。の意思決定行為である「採決」の前段階で、従来の「質疑」「討論」に限らず、論点を明確にする目的で行う「自由討議」を積極的

お詫びと訂正

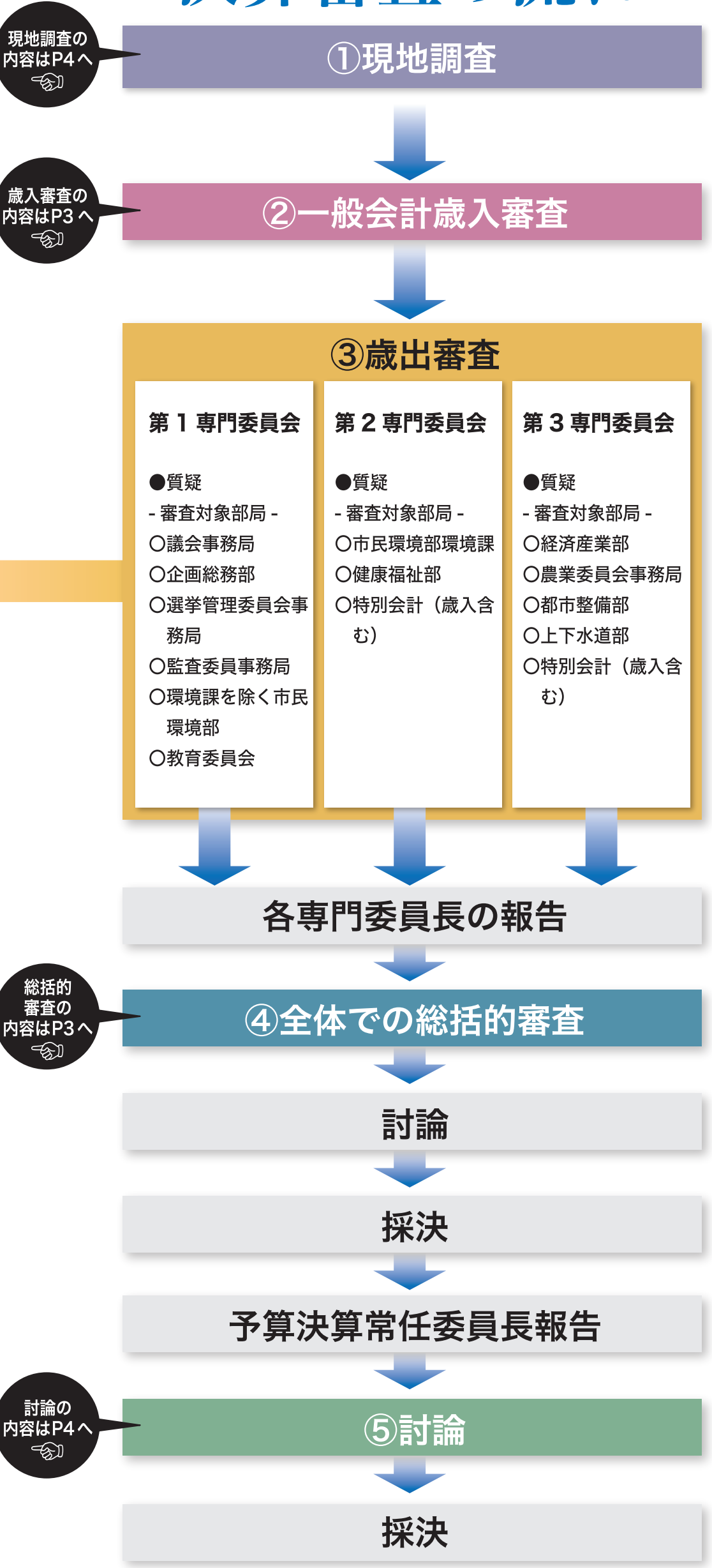
前号(第13号:平成28年8月15日発行)でお知らせした記事に誤りがありました。19番佐藤澄子議員の表決結果が「反対×」となっていました。正しくは次のとおりです。関係者の皆様を始め、多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

賛否が分かれた議案（4月会議） ※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
		齋藤明	武田哲	日向清一	仲田孝行	小田島清美	高橋辰雄	稲荷場裕		日向裕子	川村守	藤原治	桜井博義	相原孝彦	角掛邦彦	松村一	工藤勝則	遠藤秀鬼	山谷仁	佐藤澄子	長内信平	表決議員数	賛成票数	反対票数
発議第 1 号	陸上自衛隊岩手駐屯地の体制維持と周辺地域の環境整備を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※1	18	16	2

賛否が分かれた議案(4月会議)

※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません

平成27年度決算審査報告 決算審査の流れ



全体での審査

専門委員会での審査

全体での審査

本会議

③歳出審査

第1専門委員会

歳出の審査は、予算決算常任委員会の中に「専門委員会」を設置し、第1から第3の3つの専門委員会に分かれ行います。

第1専門委員会では、企画総務部が担当する分野からは「ふるさと納税推進」に関する事業を、教育委員会が担当する分野からは「スクールカウンセラー」に関する事業を重点に審査しました。

財政計画は25億円と考える。

交流拠点複合施設の建設費は妥当だったのか。

1回目の入札は不落だった。再度見積りをし46億7千万円を上限としたが、45億4千万円で完成する。

国体後の陸上競技場の管理は。

第2専門委員会

伝統文化の後継者不足に対する市の対応は。

市の行事等で演じる場の提供や、市の広報ホームページで取り上げ周知していく。

学校給食の食べ残しの処理は。

圧縮して水分を切つて清掃センターで焼却している。センターからの残渣は3割減、学校からも年々減ってきている。

ゴミステーションは自治会、衛生指導員に依頼している。30年10月のゴミの有料化に向け、28年に市民にアンケートを行う計画。

民生委員のなり手がいない。待遇の改善を。

報酬は国が5万2千円としており、それに市が上乗せするようにしている。活動状況は365

第3専門委員会

一時保育や認可外保育所などの利用相談を行っている。

生活保護の実態とケースワーカーの育成は。

相談は143人のべ234件、申請は47件で44件を保護、3件は却下。ケースワーカーは5名。うち1名がベテラン職員で、さまざまな研修を受け育成している。

第3専門委員会では経済産業部が担当する分野からは「農業、観光、企業振興」。都市整備部が担当する分野からは「道路交通政策、空き家対策」。そして「簡易水道、下水道の整備状況」など重点的に審査しました。

年2回訪問し状況を確認している。

滝沢市特産品開発事業での売り上げ状況は。

焼酎「馬芋」は26年度の1万2千本をピークに、28年度は4千本に減少。りんごの「はるか」は商標登録を得るため勉強会を行っている。

市内の恵まれた観光資源を生かした取り組みと結果は。

観光パンフレットの修正、増刷して誘客を進めるとともに、市の物産も紹介している。

複合施設の開館に伴う市内公共交通網の具体的な計画は。

広域連携を模索しながら、公共交通のあり方を検討中。市役所周辺のバスターミナル化を考え、市民に公共交通のあり方を理解いただく。

除排雪事業の市民満足度は例年低く推移している。

空き家対策推進事業の取り組みと対応は。

特に問題がある場合は通達を出しているが、返信が少ない。対策マニュアルで対応し、プロジェクトで研究を進める。

★一般会計 歳出

事業の内容は。

納税者への返礼品代2603万円、納税額6913万円で次年度への積み立て。

住民基本台帳システム管理事業の増額理由は。

介護・福祉のシステムと統合型GISのハード更新に2千万円。

財政調整基金の理想は。

指定管理に含めるか、外部委託とするか検討中。

カウンセラー設置校をもっと増やしては。

第2専門委員会では健康福祉部が担当する分野から「民生委員・児童委員設置」「高齢者支援」に関する事業を重点に審査しました。

第2専門委員会

日の方も100日以下の方もある。

生活困窮者自立支援事業の効果は。

相談者が少なかったが、93名中12人が就労した。しかし、4人が生活保護を受けた。社会福祉協議会に委託し、訪問等により相談しやすい環境の整備をしていく。

保育所運営上の問題点と対応は。

1275人が定員で、54人が待機している。

★介護保険特別会計

成年後見制度利用支援事業の事業費が減少した理由は。

10人から相談があったが、用件に合致せず申し立てなかった。後見人は2名が継続で、1名は年度途中で亡くなり、1名は要支援者が負担することになり、補助金の支出が減少した。

新規就農対策事業での就農者の経営状況の把握は。

職員、マネージャー、普及センターの構成で

②一般会計 歳入審査

一般会計歳入の審査は、議長を除く18名の議員で構成する「予算決算常任委員会」において全員で審査しました。

歳入は、皆さまから納めていただく大切な税金など、市に入ってくるお金に関する予算です。

主に質疑を通じて、市の考え方や取り組みなどについて審査しました。

質疑及び答弁の内容の一部をご紹介します。

26年と比較して、市民税の個人分、法人分が微増した要因は。

個人分は復興需要による雇用が進んだため給与所得が増えた。法人分は運輸、郵便、建設業が増えたが卸売業が大幅に減った。消費税アップによる駆け込み需要と考える。

地方交付税が増えた要因は。

基準財政需要額で生活保護費、高齢者保健福祉費等2億3554万円2.9%増えた。しかし、基準財政収入額も5.3%増えている。

重度心身障害者医療費補助金減額の要因は。

予め限度額適用認定書を申請し、病院の窓口に出すことで自己負担限度額のみ支払いで済むため補助金が減額となった。

岩手県公共施設再生可能エネルギー導入事業の内容は。

交流拠点複合施設の地中熱利用設備工事、太陽光発電設備に1億2300万円の100%補助の補助金である。

岩手型牧草地再生対策事業補助金の内容は。

震災による牧草地の更新を面積で85.92ha。内訳は、農家戸数23戸76.75ha、相の沢牧野17haで28年度で終了した。

特定防衛施設周辺整備調整交付金の基金繰入の内容は。

基金条例により一本木4号線他2整備事業と同じ期間だけ積み立てて利用するもので、29年度までとなっている。

各種健康診査の受診者自己負担金が上がったことの周知徹底は。

広報には今年の金額しか明示しなかった。今後は昨年度との比較など表記し周知する。

学校給食費の収納率向上対策と未納者対策は。

現在88.43%で22年

岩手型牧草地再生対策事業補助金の内容は。

震災による牧草地の更新を面積で85.92ha。内訳は、農家戸数23戸76.75ha、相の沢牧野17haで28年度で終了した。

特定防衛施設周辺整備調整交付金の基金繰入の内容は。

基金条例により一本木4号線他2整備事業と同じ期間だけ積み立てて利用するもので、29年度までとなっている。

各種健康診査の受診者自己負担金が上がったことの周知徹底は。

広報には今年の金額しか明示しなかった。今後は昨年度との比較など表記し周知する。

学校給食費の収納率向上対策と未納者対策は。

現在88.43%で22年

④総括的審査

各専門委員会での審査を受けて、予算決算常任委員会全体で総括的審査を行いました。

総括的審査は、市当局の「部」単位で行った専門委員会の審査とは異なり、複数の政策（部）等にまたがる広い視点での質疑を通じ、市政全体の課題等を意識して決算を審査するものです。

質疑及び答弁の内容の一部をご紹介します。

一般会計 厳しい財政運営の中、27年度の健全化指標をどうとらえるか。

当市の健全化判断比率は実質公債費比率が6.9%、将来負担比率が60%、比率から見れば県内でも低い方で、実質公債費比率の6.9%は運営上は驚くほどの数字ではない。

農業政策の評価と今後の施策は。

多数の政策には良い成果があった。今後は農業と観光、物販を連動した仕組みを構築していく。

また、地域の声を聞き市としてできることを行っていく。

学校教育の評価で二項目がC評価だったが、その要因と今後の対応策は。

27年4月の標準学力検査で目標値を下回ったのでCと評価した。原因は授業と運動した家庭学習が十分ではなかったと考え、教師がわかりやすい授業を心がけ、家庭学習の時間が確保できるよう、家庭の協力も得て、確かな学力を

27年度の滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革を進め、単年度赤字をなんとか4千万円まで圧縮できたい。

27年度は滝沢にとって転換期だったと考えており、今後も構造改革を進めていく。

国民健康保険特別会計 加入世帯、加入者数の減少状況と伸びている部分の内容は。

所得の伸びは2.9%の減少で2800万円の減。増額の要因は収納率の向上で一般と退職で0.3%の増で410万円ほど。給与所得者は175件減少。

簡易水道事業 繰越明許が発生したが、事業費、償還などに遅れ等の影響は。

県は県内各事業で残った事業費を集め、調整後再配分するので、その中から予算を確保していきたい。

第一次総合計画を策定して初年度の評価は。

財政構造改革

中小企業振興条例の策定は検討すべきですが役割など共通の認識が大切ですが



日本共産党 桜井 博義 議員

市内の中小企業を活性化すると、中小企業振興条例を策定する考えは。

地域の雇用、経済の根幹を担う中小企業振興のため検討すべきと考えます。一方で制定することが目的ではなく、中小企業

RMCで行われている作業内容は

放射線医薬品にかかわる廃棄物を処理しています



一新会 日向 裕子 議員

放射線医薬品にかかわる廃棄物を処理しています。

締結された公害防止協定等の概要と放射線監視委員会の役割は。

協定の目的は地域住民の健康の保護と生活

住民自治日本一のあるべき姿は

市民自らの意思と行動で幸せを育む取り組みが数多くみられる状態です



公明党 小田島 清美 議員

住民自治日本一のあるべき姿をどう捉えるか。

市民自らの意思と行動により、人とのふれあいや助け合いの中で、自己実現が図られる環境を整えることを基本とします。

幸せを日常生活の多くの場面で感じることににより、本市への愛着を将来

菓子駅周辺の整備計画は

菓子駅を核とした快適で魅力ある市街地形成を図っています



滝政会 高橋 辰雄 議員

現在、菓子駅と県道とを結ぶ道路交差点近くに大規模なドラッグストアのオープンが予定されています。

駐車場の出入り口付近で交通の混雑が予想されるが、そのことについての交通政策は。

当該地区の整備方針は、駅前拠点地区に商業・業務施設を立地誘導

広報紙による情報発信をどのように捉えているか



一新会 川村 守 議員

広報紙による市政情報の発信状況をどのように捉えているか。

月に2回、5日号と15日号を各2万1千部発行しています。紙面の情報量と発行回数には問題無いものの、内容については市民アンケートの結果を踏まえて

小規模商工業者への事業成果と今後の方針は

商工会や金融機関との連携を強化します



滝政会 稲荷場 裕 議員

商工業振興計画の成果と方針は。

今年度は情報収集支援計画との連携を強化します。

農地中間管理事業による取り組みは

農業経営の規模拡大と効率化等による生産性向上を図ります



会派に属さない議員 齋藤 明 議員

農地中間管理事業による農地集約等の推進策と取り組みは。

事業の仕組みとして、岩手県農業公社が一旦農地所有者から農地を借受け、認定農業者の経営体に貸付けて農地集約化による規模拡大を図ります。

生産施設整備は、ライ

入札における市内業者への事業発注の考え方は

実績を積み企業の技術力を高めてほしい



会派に属さない議員 武田 哲 議員

入札における市内業者の落札状況と、事業発注の考え方は。

27年度の市発注の建設工事の契約総数は39件で、請負率は87・12％です。

落札状況は、39件中13件が市内業者または市内に営業所をおく進市内業者が落札しており、指名

活用状況は。

自治会をはじめ、中学校の部活動や社会人の団体など、年平均で7千人前後の方が利用しています。

教育行政にかかる情報発信の状況は。

ホームページで教育委員会各領域の情報を発信しています。

大釜運動場は栗石川の河川敷内にあるため国土交通省の占用許可を得て使用しており、水道設備や水洗トイレは設置できません。

今後とも占用許可の範囲内でトイレ増設など整備可能な設備を、河川管理者と協議していく必要があると考えます。

運動場の保守・管理の課題は。

相互活用計画は。

複合施設の指定管理者や防災協定を結んだ菊川市等と連携し進めます。

奨学金返済免除基金対策など全国で実施している「企業版ふるさと納税」導入の考えは。

一般財源や企業の利点を考え検討します。

福祉施設の「お山の湯」の在り方は。

プロジェクトチームによる調査の結果、民間企業の利活用の可能性が無く廃止予定です。

所管事務調査報告

財政運営について 総務教育常任委員会

国の地方財政計画を見据え、本市が未来に向けて持続可能で安定的な財政運営を行っているかどうか検証し、将来の見通しを探っていくため調査を行いました。

経営改革会議を立ち上げ「経営改革の方策」など第三者に意見を求めることも検討する必要があります。経営改革プランの策定なくして財政構造改革だけでは現在の危機的状況からの転換は考えられない。市は、27年度より「滝沢市財政構造改革」に取り組んでいるが、これまでの手段をもとに新たな手法を取り入れるとともに、市民に丁寧な説明を行い、さらなる財政構造改革の必要があると考え



千葉県富津市での視察の様子

『所管事務調査』とは、議会の常任委員会が、地方公共団体に関する事務について自主的に調査研究することを言います。この調査は、地域課題の解決につなげるなどの目的があり、調査結果を 議会内で共有し、その後の議会活動に役立てることが出来ます。市議会では、議会報告会等で寄せられた皆様のご意見も参考に、委員会 ごとに「所管事務調査」のテーマを設定しています。

議会用語 ピンポイント解説

コミュニティ施設の管理運営について 総務教育常任委員会

市のコミュニティ施設（地区公民館・集会所）は、建設母体の資金や管理者もさまざまな公平公正に運営されているとはいえず、また、先進地視察で伺った千葉県富津市のように

学校給食事業について 総務教育常任委員会

市コミュニティ施設が抱える管理運営の課題についての調査を行った。その結果30自治会が使用するコミュニティ施設は、建設の経緯がさまざまであることが判明した。市所有の地区コミュニティ施設は、屯所と併設するものが6施設、併設しないものが1施設あり、その活動主体は自治会となっている。30自治会が使用するコミュニティ施設の「公平公正性」「修繕・新設等にかかる助成のあり方」をさら



学校給食の食に関する指導のあり方と、安全で適正な価格の食材確保及び地元食材の活用状況、給食費の納入状況の調査研究を行いました。また、メニューにも工夫が見られることから委託後も問題なく業務が進められている。地産地消については、地元食材の増産等について検討が必要である。食育の大切さや給食費について、保護者に適切な説明と給食費未納対策マニュアルを作成するなど、学校・教育委員会・保護者が連携した取り組みが重要であると考え。給食費未納対策については、未納者が減少してきているとはいえず、訴訟まで移行しているものもあるため、学校給食センターだけで対応するには限界もある。さらなる対策が必要である。

議決一覧（7月会議）

全員賛成で議決した議案

議案第 1号	財産の取得に関し議決を求めることについて
--------	----------------------

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

議決一覧（9月会議）

全員賛成で議決した議案

議案第 1号	平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第3号)	認定第 3号	平成27年度滝沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定することについて
議案第 2号	平成28年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	認定第 4号	平成27年度滝沢市介護保険特別会計歳入歳出決算を認定することについて
議案第 3号	平成28年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	認定第 5号	平成27年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
議案第 4号	平成28年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第2号)	認定第 6号	平成27年度滝沢市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
議案第 5号	平成28年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	認定第 7号	平成27年度滝沢市水道事業会計決算を認定することについて
議案第 6号	平成28年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	認定第 8号	平成27年度滝沢市下水道事業会計決算を認定することについて
議案第 7号	平成28年度滝沢市水道事業会計補正予算(第1号)	付託陳情第1号	小岩井駅前広場の整備に関する陳情書 (平成29年3月会議の1週間前までに、処理の経過及び結果の報告を求める。)
議案第 8号	滝沢市電源立地地域対策交付金事業基金条例を制定することについて		
議案第 9号	滝沢市交流拠点複合施設設置条例の一部を改正することについて		
議案第10号	滝沢市立図書館設置条例の一部を改正することについて		
議案第11号	滝沢市老人福祉センター設置条例の一部を改正することについて		
議案第12号	平成27年度滝沢市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		
議案第13号	平成27年度滝沢市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		

人事

人権擁護委員
諮問第1号
藤井 美雪 氏 適任

滝沢市固定資産評価審査委員
同意第1号
神 初見 氏 同意

賛否が分かれた議案

結 果 ○賛成 × 反対 ※1 長内信平議員は議長であるため採決には加わりません		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
		齋藤 明	武田 哲	日向 清一	仲田 孝行	小田島 清美	高橋 辰雄	稲荷場 裕		日向 裕子	川村 守	藤原 治	桜井 博義	相原 孝彦	角掛 邦彦	松村 一	工藤 勝則	遠藤 秀鬼	山谷 仁	佐藤 澄子	長内 信平			
認定第 1号	平成27年度滝沢市一般会計歳入歳出決算を認定することについて	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	16	2
認定第 2号	平成27年度滝沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定することについて	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	16	2
発議第 1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	17	1
発議第 2号	私学助成の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	17	1

請願

	件名	請願の趣旨	請願者	結果
1	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願書	次の事項が実現されるよう、国の関係機関への意見書提出を請願します。 ①子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。 ②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。	岩手県教職員組合岩手支部 支部長 栗田 裕年	採択
2	私学教育を充実・発展させるための請願	国及び県に対し、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実することを求める意見書を提出してください。	私学助成をすすめる岩手の会 会長 新妻 二男	採択

付託陳情

	件名	請願の趣旨	請願者	結果
1	小岩井駅前広場の整備に関する陳情書	小岩井駅前広場の整備について、これまでのJRとの協議や調査の成果を踏まえて速やかに事業化し、出来るかぎり早い時期に工事を完成させること。	小岩井自治会 会長 柳橋 民治 小岩井地域づくり推進委員会 会長 小川 元春	採択

11～12月
議会の活動

11月10日(木)	議会運営委員会
11月10日(木)	全員協議会
11月20日(日)	市民議会(干支議会)※
11月30日(木)	議会運営委員会
11月30日(水)	全員協議会
12月 7日(水)	12月会議※

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。

12月12日(月)	12月会議※
12月13日(火)	12月会議※
12月14日(水)	12月会議※
12月16日(金)	12月会議※
12月27日(火)	12月第2回会議※

※は、議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

7～9月会議の傍聴者 85名

～お知らせ～
◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧いただけます。
◎議場・議会事務局は市役所4階です。
◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

傍聴におでんせ!